

平成26年4月22日
一般社団法人日本物流団体連合会

第5回「物流連懇談会」を開催

一般社団法人日本物流団体連合会は、4月17日（木）、東京都千代田区の法曹会館2階「高砂の間」において、第5回「物流連懇談会」を開催した。

この懇談会は、物流連の会員サービス充実の一環として、会員の交流や情報交換を目的に、一昨年から開催しており、今回で5回目。前回に引き続き、満席の盛況で、会員企業の代表者や幹部ら73人が出席した。

懇談会では、まず賑やかな歓談の中での昼食会を行い、その後、当連合会の川合会長から挨拶と、最近の物流連の活動状況について紹介があり、講演会に移った。

今回の講師は、成田国際空港株式会社 代表取締役副社長の深谷憲一氏で、『我が国最大の貿易港、成田空港の現状と展望』をテーマとした。

講演ではまず、成田空港の現況として、世界へのネットワーク、空港アクセスの他国との比較などが紹介され、次に成田空港を取り巻く環境の変化として、旅客／貨物量の変化予測や、就航機材の中小型化、オープンスカイ化、LCCの台頭、羽田の国際化などが説明された。その上で成田空港の取組みとして、施設の充実、航空アライアンスに対応した拠点对応、オープンスカイに対応した戦略的取組みとして料金政策や離着陸制限時間帯の対応、ゲート警備のノンストップ化などが述べられた。さらに今後、羽田と合わせた首都圏空港機能について、空港容量の拡大が必要となることや、産業インフラの整備、都心直結線の検討などにも言及され、約一時間半の講演を終えた。

参加者は、幅広い内容に大変興味深く聞き入っていた。

物流連では今後も「物流連懇談会」を開催し、物流界で活路する経営者の講演とともに、会員相互の交流・情報交換を深めていく考えで次回は11月に開催を予定している。



挨拶する川合会長



講演する深谷副社長



講演会場風景